

UTILITY CHARGER

UC25.0

充電・回復・電源供給 マルチ機能チャージャー

DHC-DS JAPAN 取扱説明書

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書の注意事項および使用方法をよく読んで、正しくお使いください。また充電するバッテリーの取扱説明書もあわせてお読みください。なお本書には保証書がついております。読んだ後も大切に保管してください。



イラストはイメージです。

もくじ

安全に関するご注意	1～2P
各部の名称	3P
充電できるバッテリーの種類	4P
使用方法: バッテリー充電	4P
充電時間について	8P
LED表示について	8P
使用方法: パワーサプライ機能	10P
使用方法: バッテリー回復機能	11P
保護回路について	13P
こんなときは	13P
製品仕様	14P
保証書	本紙背表紙

! バッテリーの状態によっては充電できない、または十分に充電できない場合があります。あらかじめご了承ください。

開発・製造

DAISAKU
大作商事株式会社

東京都千代田区大手町一丁目5番1号
大手町ファーストスクエアイーストタワー17F

www.daisaku-shoji.co.jp

お客様サポートセンター

フリーダイヤル 0120-120-959
(土日・祝日を除く平日 月～金 9:00～17:00)

インダストリアルプロダクト事業部

TEL: **03-5219-1111**
FAX: 03-5219-1100 MAIL: dhc@daisaku-shoji.co.jp
営業時間 9:00～18:00 (土日祝祭日および弊社休業日を除く)

1142A



DHC-DS オフィシャルサイト
www.dhc-ds.com

上記 URL にて製品情報の閲覧や製品カタログ (PDF)、
取扱説明書 (PDF) 等のダウンロードが可能です。



▲ 警告 注意 使用上のご注意

ここに表示した注意事項は、商品を正しくお使いいただき、お使いになる人や他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な事項ですので、必ずお守りください。

- 充電を実施する前に毎回の取扱説明書を読み、指示に正確に従ってください。
- 使用後は電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。差し込んだままにしておくと感電・過熱・発火の原因になることがあります。
- 本製品は、12Vの従来型鉛蓄電池（VRLA）、AGM、カルシウム、ゲル、WET、およびLiFePO4）バッテリーのみを充電およびメンテナンス対象として設計しています。
- バッテリーの充電要件が不明な場合は、必ずバッテリー製造元の仕様と推奨事項を参照してください。リチウム電池の場合は、リチウム電池メーカーの仕様を確認して、充電電圧（14.4V）を確認してください。本製品を使用する前に、充電電流が適切であることを確認してください。鉛蓄電池タイプの電池設定でリチウム電池を充電したり、リチウム設定で鉛蓄電池を充電したりしないでください。
- タバコなどの火気がないところ、風通しの良いところでご使用ください。火気の近くや風通しが悪い環境だとバッテリーが過熱・爆発する恐れがあります。
- 本製品は取扱説明書に記載しているバッテリーの種類・公称電圧、及び定格容量を対象として充電器です。その他の用途には使用しないでください。
- 本製品を雨、雪、液体にさらさないでください。直射日光下で長時間保管しないでください。
- 本製品の製造元が推奨または販売していないアタッチメントを使用すると、火災、感電、またはけがの危険があります。
- 感電の危険を減らすために、メンテナンスやクリーニングを行う前に、コンセントから充電器のプラグを抜いてください。
- 充電器の適切な使用方法を保證できる監督者が不在の下での子供やマニュアルを理解できない者の使用は想定しておりません。本充電器で遊ばないよう注意願います。
- 電気プラグやコードの破損リスクを減らすため、本製品をコンセントから取り外すときはコードではなく電源プラグを引っ張ってください。破損すると感電・過熱・発火の原因になります。
- どうしても必要な場合を除いて、延長コードは使用しないでください。不適切な延長コードを使用すると、火災や感電の危険があります。延長コードを使用する必要がある場合は、延長コードが破損していないこと、延長コードのプラグのピンが本製品のプラグのピンと同じ数、サイズ、形状であること、延長コードが適切に配線され、電気的状態が良好であること、また配線は125V 10A以上のものを使用してください。
- 本製品が濡れていないか、電源コードや充電ケーブル等のひび割れ、芯線の劣化や腐食がないかを確認してからご使用ください。確認を怠ると、感電・過熱・発火の原因になります。
- 充電するバッテリーの種類とバッテリー選択を間違わないようにしてください。バッテリーの過充電・漏液・過熱・変形などの原因になることがあります。
- 充電中にエンジンを始動させないでください。
- 充電中に充電クリップを取り外さないでください。車両火災・感電・爆発の原因になります。
- 本製品を落としたり、破損したりした場合は使用を止め、大作商事（株）カスタマーサポートにご相談ください。
- 本製品は絶対に分解しないでください。修理が必要な場合は、事前に大作商事（株）カスタマーサポートに連絡の上、お送りください。

- 木くず・可燃性オイルなど可燃物の周辺で使用しないでください。万一引火した場合、火災の原因になることがあります。
- 本製品に重いものを載せたり、落下しやすいところに置いて使用しないでください。本製品の破損・落下等によるけが、感電・過熱・火災の原因になることがあります。
- 開放型（オープン）バッテリーを充電する場合は、充電前及び充電後にバッテリーの電解液量を点検し、液量が不足している場合は、最高液面線（UPPER LEVEL）まで補充してください。
- バッテリーには鉛と希硫酸が含まれています。使用済みバッテリーの引き取りは新しいバッテリーを購入した販売店にご相談ください。バッテリーを埋め立て地、湖などに廃棄しないでください。
- 充電クリップの接続は次の手順で極性に注意して行ってください。

バッテリーのマイナス（-）が車両ボディーに接続されている場合（最も一般的）

- ① 充電器側 ⊕ 赤クリップ → バッテリー側 ⊕ 端子
- ② 充電器側 ⊖ 黒クリップ → 車両側金属部（未塗装部）

バッテリーのプラス（+）が車両ボディーに接続されている場合

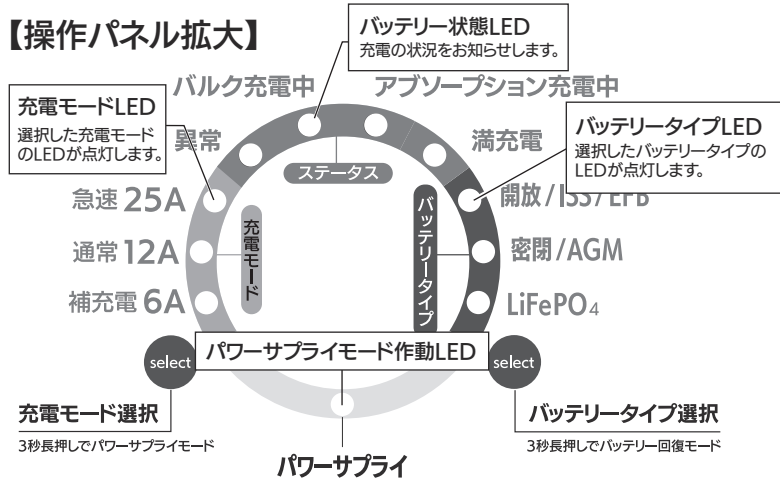
- ① 充電器側 ⊖ 黒クリップ → バッテリー側 ⊖ 端子
- ② 充電器側 ⊕ 赤クリップ → 車両側金属部（未塗装部）

- 充電を終了する場合は電源プラグを必ず先にコンセントから抜いてください。充電クリップを先に外さないでください。
 - バッテリー液は腐食性があります。バッテリーの酸が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに石鹸と水で洗ってください。酸が目に入った場合は、すぐに流水で10分以上洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
 - バッテリーやエンジンの近くで喫煙をしたり、火花や炎を出さないでください。
 - 作業を行う場合は時計などの身の回りの金属製品を取り外してください。
 - 「パワーサプライ機能」は車両への電源供給用途以外の電源供給に使用しないでください。家電製品で一般的に使用されている乾電池や非充電式電池の充電には、本製品を使用しないでください。バッテリーが破裂し、人身事故や物的損害を引き起こす可能性があります。不適切なタイプのバッテリーを充電すると、バッテリーに重大な損傷を与える可能性があります。
 - 凍結したバッテリーは絶対に充電しないでください。
 - 間違った種類のバッテリーを充電しないでください。
 - バッテリー充電電圧を確認し、不適切な電圧での充電はしないでください。
 - 複数のバッテリーを並列に接続して充電しないでください。本製品の過熱・発火の原因になることがあります。
 - 本製品の空気口をふさがないでください。
 - 本製品は-10℃～40℃の範囲でご使用ください。温度範囲外でのご使用は、本製品の加熱・焼損、バッテリーの漏液・加熱・変形の原因となる場合があります。
 - 車両のトランクルームなど振動の多い場所、閉め切った車内などに放置したり、保管しないでください。本製品が破損し、使用中に感電・過熱・火災の原因になることがあります。
 - 異常や不具合が生じた場合には、ただちに使用を中止し、販売店または弊社にご相談ください。そのまま使用すると過熱・感電・火災の原因になることがあります。
 - 海洋（ボート）バッテリーは、取り外して陸上で充電してください。
- ※ この取扱説明書に記載している内容で、ご不明な点やご理解できない内容などがあれば弊社までお問い合わせください。

各部の名称



【操作パネル拡大】



充電できるバッテリーの種類

- 開放型(オープン)鉛バッテリー 電圧：DC12V
- ISS車用バッテリー・HV車用補機バッテリー バッテリー容量：40Ah～500Ah
- 密閉型(シールド)鉛バッテリー
- AGM(ドライセル)バッテリー
- LiFePO₄(リン酸鉄リチウムイオン)バッテリー

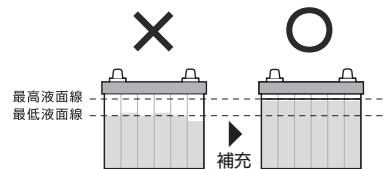
⚠ バッテリーの状態によっては充電できない、または十分に充電できない場合があります。あらかじめご了承ください。

⚠ 家電製品で一般的に使用されている乾電池やリチウムバッテリー、ニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリー、非充電式電池の充電には本製品を使用しないでください。バッテリーが破裂し、人身事故や物的損害を引き起こす可能性があります。不適切なタイプのバッテリーを充電するとバッテリーに重大な損傷を与える可能性があります。

使用方法：バッテリー充電

⚠ 重要 バッテリーにつなぐ前に

- 充電するバッテリーが本製品で充電できる種類・仕様であることを確認してください。
- バッテリー電解液のレベルを確認します(密閉型およびメンテナンスフリーのバッテリーでは必要ありません)。必要に応じて、ベントキャップを取り外し、蒸留水を補充して、レベルが上部と下部の充填ラインの中間、あるいは最高液面線になるようにします。



- エンジンスイッチをOFFにしてください。
- 車両のすべてのアクセサリがオフになっていることを確認してください。
- 開放型バッテリーの場合、液口栓の排気孔を点検してください。腐食物などで詰まりがある場合は取り除いてください。充電中にセルキャップを緩める必要があるかなど、バッテリーメーカーの注意事項に従ってください。



⚠ 重要 バッテリーにつなぐ前に

- 走行直後などバッテリー温度が高い場合は冷ましてからご使用ください。
- 十分な換気を確保できる環境で使用してください。
- バッテリーの端子に腐食物が付着している場合は、ブラシや紙やすりなどで取り除いてください。
- 本製品はケーブルが許す限りバッテリーから離れた場所に置いてください。
- 比重計を読んだり、補水液を補充したりするときに、バッテリー液が本製品に滴り落ち無いようご注意ください。
- バッテリーの上に本製品を置かないでください。

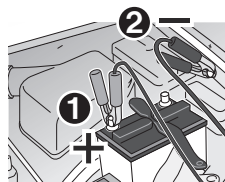
① 充電クリップをバッテリーに接続する

バッテリーが車両に搭載状態の場合

バッテリーのプラス(+)、またはマイナス(-)のどちら側がボディーに接続されているかを確認します。

マイナス(-)がボディーに接続されている場合(最も一般的)

- ① 充電クリップ(赤)をバッテリーのプラス端子に接続。
- ② 充電クリップ(黒)を車両のシャーシやフレームなどの未塗装の金属部(固定された部分)に接続。



※キャブレター、燃料パイプ、板金ボディ部品には充電器クリップを接続しないでください。

※バイク用バッテリー及び充電クリップが接続できない場合は、付属のバッテリー専用O型端子コネクタを使用してください。

⚠ 各種コードは束ねたまま使用しないでください。濡れた手でコード類、バッテリー周辺を触らないでください。

プラス(+)がボディーに接続されている場合

- ① 充電クリップ(黒)をバッテリーのマイナス端子に接続。
- ② 充電クリップ(赤)を車両のシャーシやフレームなどの未塗装の金属部(固定された部分)に接続。

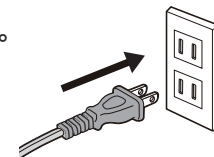
バッテリーが車両に非搭載の場合

- ① 充電クリップ(赤)をバッテリーのプラス端子に接続。
- ② 充電クリップ(黒)をバッテリーのマイナス端子に接続。

② 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込んでください。本体に電源が供給され、自動的に起動します。

注:異常のLED(赤)が点灯している場合は、充電クリップの接続がプラスとマイナスで逆になっている可能性があるため、接続を確認してください。



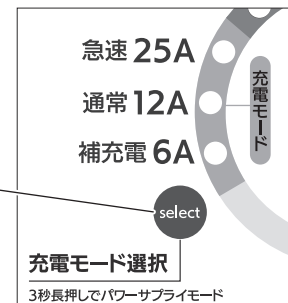
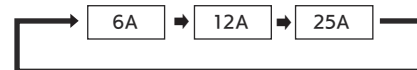
⚠ 各種コードは束ねたまま使用しないでください。濡れた手でコード類、電源プラグを触らないでください。

③ 充電モードを選択する

※ 起動時は「充電モード:1A」「バッテリータイプ:AGM」が点灯します。

充電モード選択ボタンを押して充電モードを選択します。ボタンを押すごとに充電モードが変わります。(LED(緑)点灯)

充電モード選択ボタン

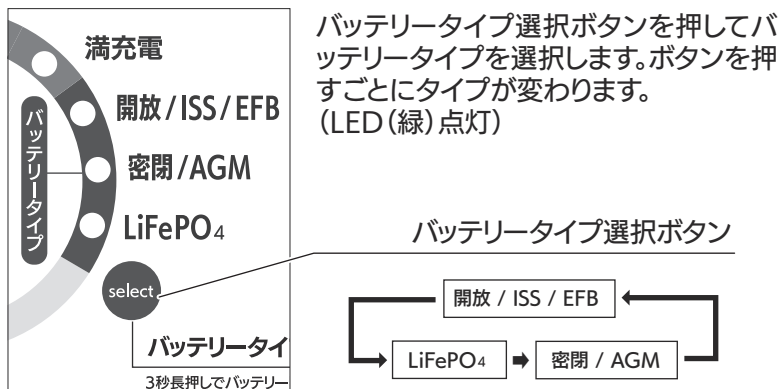


充電モード選択

3秒長押しでパワーサブライモード

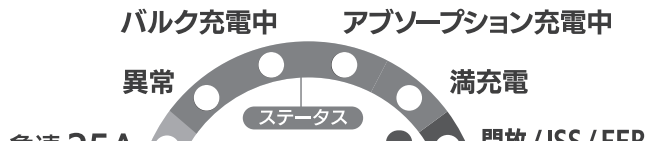
6A	小型乗用車のバッテリー充電に使用します。長期的なバッテリーメンテナンスを実施する際に推奨します。
12A	大型乗用車、トラック、バスなどのバッテリー充電に使用します。ユニットの冷却ファンは動作しません。
25A	建設機械などの大型バッテリーの充電に使用します。定格の最大充電電力を使用することで最速の充電時間を確保します。ユニットの冷却ファンが作動して安定的に充電を実施します。

4 バッテリータイプを選択する



5 充電を始める

充電モードとバッテリータイプを選択すると数秒後に自動的に充電が開始されます。先に「バルク充電中」の青色LEDが点滅または点灯し、80%充電すると、その後「アブソーブション充電中」の緑色LEDが点滅または点灯します。



異常LED(赤)が点灯・点滅する場合

赤点灯…短絡または充電クリップの逆接続
充電クリップの⊕⊖を確認してください。

赤点滅…温度異常の検出または充電器の過負荷
本機を冷ましてください。

充電時間について

充電電流	容量範囲	充電時間の目安
6Amp	40~120Ah	7~24時間
12Amp	60~160Ah	7~24時間
25Amp	170~500Ah	7~24時間

※充電時間の目安は、約50%放電状態から満充電になるまでの目安時間です。バッテリーの種類や状態によって充電時間は異なります。

LED表示について

充電モードLED(黄帯)

LED項目	LED状態	説明
6A	緑点灯	6A充電モードを選択中
12A	緑点灯	12A充電モードを選択中
25A	緑点灯	25A(高速)充電モードを選択中

バッテリー状態LED(緑帯)

LED項目	LED状態	説明
異常	赤点灯	充電器出力の短絡発生・逆接続、バルク充電中LEDも遅く点滅している場合はバッテリー回復に失敗
	赤点滅	・温度異常を検出(早い点滅) ・ソフトスタート充電がタイムアウト(充電中LED(青)も同時に点滅) ・バルク充電モードがタイムアウト(充電中LED(青)も同時に点滅)
充電中	青点滅	・バッテリー状態の検出(アブソーブション充電中LED(緑)も同時に点滅)・ソフトスタート充電モード作動中
	青点灯	バルク充電モード 作動中
	ブリンク点滅(※)	バッテリー回復機能 作動中
アブソーブション充電中	緑点灯	バルク充電モード 作動中
	緑点滅	・イコライゼーション充電モード作動中 ・サルフェーションチェック作動中(満充電LED(緑)も同時に点滅)
満充電	緑点灯	充電完了(メンテナンス充電モード)
	緑点滅	充電完了、サルフェーション発生を確認

※ブリンク点滅…点灯時間が短い点滅

バッテリータイプLED(ピンク帯)

LED項目	LED状態	説明
開放 / ISS / EFB	緑点灯	開放 / ISS / EFB/バッテリーを選択中
密閉 / AGM	緑点灯	密閉 / AGM/バッテリーを選択中
LiFePO4	緑点灯	LiFePO4 バッテリーを選択中

パワーサプライモード作動LED

LED項目	LED状態	説明
パワーサプライ	緑点灯	パワーサプライ機能 作動中

インテリジェント充電機能(自動で進行します)

- 1 バッテリー診断と回復モード**
 回復のみ行う場合はP11参照
 本製品は、充電の開始時にバッテリーの状態を自動的に試験します。バッテリーの劣化が進んでいる場合、またはサルフェーションが重度と診断された場合、本製品はサルフェーションを修復してバッテリーの寿命とパフォーマンスを延長するための回復機能を自動的に実行します。バッテリーの回復モード中は、Charging (青色)のLEDがフリック点滅します。
- 2 ソフトスタート充電モード**
バルク充電中(青色)のLEDが点滅
 バッテリー電圧をゆっくりと11Vに上げます。バッテリー電圧が、6時間以内に11Vに達しない場合、本機は安全保護タイマーを作動させます。タイマーがタイムアウトした場合、異常(赤色LED)が点滅します。
- 3 バルク充電モード**
バルク充電中(青色)のLEDが点灯
 バッテリーを約80%まで充電します。本製品は、バッテリー電圧が特定の電圧値に達するまでは、ほぼ一定の最大電流を供給します。バッテリー電圧が24時間以内に特定電圧に達しない場合、本製品は安全保護タイマーを作動させてタイムアウト時に異常(赤色LED)が点滅し始めます。
- 4 アブソープション充電モード**
アブソープション充電中(緑色)のLEDが点灯
 充電電流は減少し、過充電にならないよう充電電圧は一定値に保たれます。
- 5 イコライゼーション充電モード**
アブソープション充電中(緑色)のLEDが点滅
 バッテリーを慎重に均等化/修復作業を行い、満充電まで充電を行います。
- 6 アナリシス充電モード**
 (バッテリー保持テストモード)
アブソープション充電中(緑色)と満充電(緑色)LEDが共に点滅
 アナリシス充電モードでは、充電サイクル完了後、バッテリーの状態をチェックします。アナリシス充電モード中にバッテリー電圧が急激に低下すると、異常(赤色LED)が点滅します。これは、バッテリーのサルフェーションが進んでいるか、セルの短絡によってバッテリーが弱っていることを意味します。バッテリーが弱っているまたは、サルフェーションが進行している場合は、次のフロート充電モードに切り替わります。バッテリーセルが完全に短絡している場合には、充電が終了します。
- 7 フロート充電モードとメンテナンス充電モード**
 (安全電圧レベル13.2V)
満充電のLED(緑)が点灯
 フロート充電モードを使用すると、充電器をバッテリーに接続したまま継続動作させ、放置することができます。この時、充電器は鉛蓄電池の安全レベル13.6Vで動作します。LiFePO4バッテリーの場合は13.8Vで動作します。

充電ステージ	バルク充電中	アブソープション充電中	満充電
1 バッテリー診断と回復モード	●	●	
2 ソフトスタート充電モード	●		
3 バルク充電モード	●		
4 アブソープション充電モード		●	
5 イコライゼーション充電モード		●	
6 アナリシス充電モード	●	●	
7 フロート充電モードとメンテナンス充電モード			●

● 点滅 ● 点灯

充電完了

エコモード

AC電源が接続されていて、バッテリーが接続されていない場合、最大30秒後に本製品は自動的にエコモードになります。エコモードの場合、「バッテリータイプ」と、「充電モード」の緑色LEDが点滅しています。

※ LiFePO4バッテリーの場合は以下のステージを進行します。

- リチウム起動
- ソフトスタート
- バルク充電
- アブソープション充電 1
- アブソープション充電 2
- フロート充電モード

6 充電完了

バッテリー状態LEDの「満充電」が点灯(緑)すると充電完了です。

バッテリーが車両に搭載状態の場合

電源プラグをコンセントから抜きます。 ※ケーブルを引っ張らないでください。車両金属部に接続している充電クリップ(黒)を取り外します。次にバッテリーに接続している充電クリップ(赤)を取り外します。※バッテリーのプラス(+)が車両ボディに接続されている場合は充電クリップ(赤)から取り外す。

バッテリーが車両に非搭載の場合

電源プラグをコンセントから取り外します。 充電クリップ(黒)をバッテリーから取り外し、次に充電クリップ(赤)を取り外します。

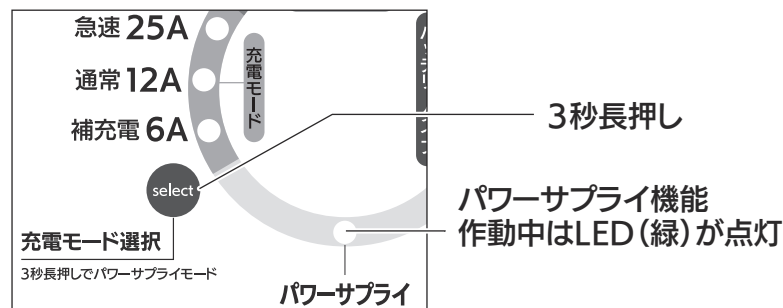
■ 使用方法: パワーサプライ機能

本製品が13.8Vの安定した電圧を提供します。

1 4~5P 使用方法(バッテリー充電)の①~②を行う

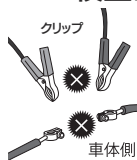
注意事項を確認し、充電クリップをバッテリー(及び車両ターミナル)及び車体に接続して、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
 ※ 起動時は「充電モード:6A」「バッテリータイプ:密閉/AGM」が点灯します。

2 充電モードボタンを3秒長押しする



警告 注意 バッテリー交換時の注意

▲ クリップがターミナルから絶対外れないように慎重に行ってください。クランプが外れるとバックアップに失敗します。



▲ パワーサプライ機能作動中に充電クリップ同士の接触、または車体側ケーブル(赤)や充電クリップ(赤)が車体や充電クリップ(黒)、その他金属に接触しないよう十分注意してください。

回路がショートし、機器の故障や事故、けが、火災の原因となります。

▲ バッテリーの交換は車両の取扱説明書に従ってください。

パワーサプライ機能を終了する場合

▲ 必ずパワーサプライ機能を解除してから電源プラグを抜いてください。

- 1 充電モードボタンを3秒長押ししてパワーサプライ機能を解除します。(充電モードに移行させます。)
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。*ケーブルを引っ張らないでください。
- 3 車両金属部に接続している充電クリップ(黒)を取り外します。次にバッテリー(または車両側ケーブルのターミナル)に接続している充電クリップ(赤)を取り外します。

*バッテリーのプラス(+)が車両ボディーに接続されている場合は充電クリップ(赤)から取り外す。

使用方法: バッテリー回復機能

回復モードを実行すると回復充電が始まり、サルフェーションが進み劣化したバッテリーの性能を回復するように促します(サルフェーション除去)。バッテリーの延命やバッテリー能力の回復に役立ちます。回復作業は約24時間で終了します。

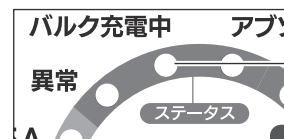
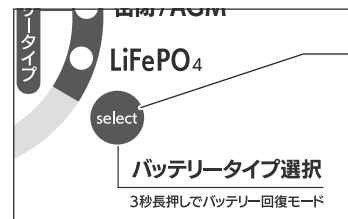
(液式のバッテリーにのみ実施できます。また劣化の状況により成果にはバラツキがあります。)

1 4~5P 使用方法(バッテリー充電)の①~②を行う

注意事項を確認し、充電クリップをバッテリー(及び車両ターミナル)及び車体に接続して、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

* 起動時は「充電モード:6A」「バッテリータイプ:密閉/AGM」が点灯します。

2 バッテリータイプ選択ボタンを3秒長押しする



バッテリー回復機能作動中はバルク充電中LED(青)がブリンク点滅

*ブリンク点滅…点灯時間が短い点滅

回復作業が終了すると満充電LED(緑)が点灯し、自動的にメンテナンス充電モードに移行します。

バッテリーの回復に失敗した場合、異常LED(赤色)が点灯します。

バッテリー回復モードを終了する場合

- 1 バッテリータイプ選択ボタンを3秒長押ししてバッテリー回復モードを解除します。(充電モードに移行します。)
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。*ケーブルを引っ張らないでください。
- 3 充電クリップをバッテリー及び車両から取り外します。

バッテリーが車両に搭載状態の場合

車両金属部に接続している充電クリップ(黒)を取り外します。次にバッテリーに接続している充電クリップ(赤)を取り外します。

*バッテリーのプラス(+)が車両ボディーに接続されている場合は充電クリップ(赤)から取り外す。

バッテリーが車両に非搭載の場合

充電クリップ(黒)をバッテリーから取り外し、次に充電クリップ(赤)を取り外します。

■ 保護回路について

加熱保護	過熱および過負荷電子回路保護機能が内蔵されています。本製品の内部温度が一定温度以上になると充電電流を減少させます。温度が低下すると、通常の充電に戻ります。
タイマー保護	各充電段階における最大充電時間を管理します。充電がタイムアウトになると、本製品はバッテリーを保護するために充電を停止し、異常LED (赤色) が点滅します。
逆極性保護	逆極性保護を備えています。バッテリー極性が逆の場合、異常LED (赤色) が点灯し、充電を停止します。(※パワーサプライモード選択中は非保護)
短絡保護	充電器の出力リード線が短絡を検出した場合、異常LED (赤色) が点灯し、充電を停止します。逆極性または短絡下では、本製品は出力を停止します。(※パワーサプライモード選択中は非保護)
セーフモード	超低消費電力回路を内蔵し、高い電力効率で動作します。バッテリーが接続されていない場合、本製品は自動的にエコモードに切り替わり、1.0W未満、1日あたり0.024kWhの消費電力に相当します。

■ こんなときは…

症状	原因	確認事項
インジケータLEDが点灯しない	電源(通電)無し	電源プラグがコンセントにしっかり挿入されていることを確認してください。
異常LEDが点灯	出力が短絡している	本製品とバッテリー間の接続を確認し、短絡していないことを確かめてください。
	バッテリーの接続が逆極性接続	充電クリップがバッテリーから外れていないことを確認してください。充電クリップ(またはリング端子)が正しい極性に接続されていることを確認してください。
異常LED(赤)がブリンク点滅	パワーサプライモードで供給電流が25Aを超えている	本製品の使用を中止して下さい。電流量の適合した充電器を使用して下さい。
異常LED(赤)点灯&バルク充電中LED(青色)が点滅、または、異常LED(赤)が点滅	バッテリーのサルフェーションが進んでいる バッテリーのセルが損傷している	バッテリーの状態、年数などを確認してください。バッテリーの交換が必要な場合があります。 バッテリー容量を確認してください。
異常LED(赤)が早い点滅	過熱保護モードが作動	バッテリーおよび本製品をより涼しい場所に移動してください。本製品を点検してください。
異常LED(赤)点滅、またはバルク充電中LED(青色)が点滅または点灯	バッテリー容量が大きすぎて、充電がタイムアウトしたか、バッテリーのサルフェーションが進み過ぎている	本製品の仕様とバッテリーの容量が合っていることを確認してください。 バッテリーを充電できない場合、バッテリーの交換をする必要があります。 一旦本製品を取り外し、バッテリーの最大充電量を超えない範囲で、より高い充電量を設定してみてください。

UTILITY CHARGER

UC25.0

充電・回復・電源供給 マルチ機能チャージャー 【製品仕様】

製品名	UC25.0	
入力電圧範囲	100-120V AC	
入力周波数	50/60 Hz	
アウトプット	25A / 12A / 6A @12V	
動作開始電圧	2V	
充電電圧	バッテリータイプ	最大電圧
	LiFePO4	14.4V
	密閉/AGM	14.6V
	開放 / ISS / EFB	15.8V
電源コード	1.8m	
充電ケーブル	1.8m	
動作温度	-10~40 °C	
保管温度	-25~85 °C	
動作湿度範囲	最大90%RH	
本体サイズ	(約)279x141x67mm	
重量	(約)2000g(クランプケーブル含む)	
安全規格	PSE、UL / cUL、Fcc	

充電率	6A	12A	25A
電池容量	40-120Ah	60-160Ah	170-500Ah
	240-720CCA	360-1000CCA	1000-3000CCA
メンテナンス	<100 AH	<120 AH	<180 AH
	725 CCA	900 CCA	1300 CCA

改良のため予告なく仕様および外観を変更することがあります。